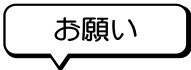
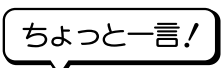
取扱説明書

－ 多機能電話機（IX-24KT-N/IX-12KT-N）編 －

第3版

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ご使用の前に、この取扱説明書と「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、よくお読みになったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。
この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本文中のマークの説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
Note	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ちょっと一言!	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

注意
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

●本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
●本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または岩崎通信機お客様相談センタへご相談ください。

⚠警告

■ 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。電話機の場合は直ちに電話機コードを外し、煙が出なくなるのを確認してからお買い求めの販売店または岩崎通信機のお客様相談センターに至急ご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 万一、電話機を落としたり、電話機を破損した場合、本電話機の場合は電話機コードを外し、お買い求めの販売店または岩崎通信機のお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しないでください。

●電子機器が誤動作したりするなど影響が出る可能性があります。また、使用を制限された場所での使用はお控えください。（ご注意いただきたい電子機器の例：補聴器、医療用電子機器など）

■ 本商品の開口部やすきまから内部に金属類や燃えやすいもの等の異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物や水などの液体が入った場合は、電話機の場合は直ちに電話機コードを外し、お買い求めの販売店または岩崎通信機のお客様相談センターに至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 電話機を電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。破裂、発火等の原因になります。

■ ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。

■ 電話機のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。

⚠警告	
	■ 故障したまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐにモジュラケーブルを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。
	■ ぬれた手で電話機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。
	■ 電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、束ねたりしないでください。
	■ 電話機を分解・改造しないでください。火災、感電の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理はお買い求めの販売店または岩崎通信機のお客様相談センターにご依頼ください。また改造は法律で禁止されています。（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）
	■ 電話機をねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災、やけど、けがの原因となることがあります。
	■ AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	■ テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
	■ 電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。
	■ 電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。
	■ 壁掛け使用時は落下に注意して下さい。けがの原因となります。

⚠注意

■ 電話機のご使用にあたっては、次のことにご注意ください。

●直射日光の当たるところ、自動車の中、暖房設備・ボイラーの側など著しく温度が高くなるところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災、故障の原因となることがあります。

●調理台のそばなどの油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所には置かないでください。火災、感電、故障の原因となります。

●振動・衝撃の多い場所、ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、電話機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

●本機の通風孔をふさがないで下さい。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

●電話機などに水滴が付いた場合は、乾いた布で拭き取ってください。

■ 指定外のACアダプタは使用しないで下さい。火災・感電・故障の原因となります。

■ 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。

■ 電源コードを熱器具に近づけないでください。電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、「ケーブルなど」外部の接続線をはずしたことを確認した上、行って下さい。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

■ 長時間、本機をご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

■ 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意	■ 壁掛け使用時は落下に注意して下さい。けがの原因となります。
	■ 受話音量増幅スイッチを『NH』に切り換えている場合は、標準ハンドセットは絶対に使用しないでください。受話器から過大音量が発生して耳に衝撃を受ける場合があります。

お願い

他の機器への影響について

■ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
■ 電話機、ファクシミリなどに近いと通話に雑音が入ったりすることがあります。

使用場所について

■ 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。電話機が正常に動作しないことがあります。
■ 冷蔵倉庫などで電話機の使用温度範囲内であっても、出入りすることにより内部が結露して電話機が正常に動作しないことがあります。
●正常に動作しなくなったときは、電話機コードを外し、十分に時間がたってから再度つないでください。
■ 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
●磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
●放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、使用できないことがあります。
■ 硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、電話機などの寿命が短くなることがあります。

国外への持ち出しについて

■ 本電話機は日本国内でのご利用を前提としたものです。国外へ持ち出されてもご利用できません。

お手入れについて

■ ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。電話機等の変色や変形の原因となります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

この取扱説明書の見かた

● この取扱説明書は、主装置の内線電話機としてご利用になれる機能を説明しています。詳細な取扱方法については、主装置の「取扱説明書ー基本編ー」と合わせてお読みください。

● 液晶ディスプレイ表示の字体や表示位置など、この取扱説明書と商品とでは異なる部分があります。

●この取扱説明書では、電話機の操作イメージなどについて、IX-24KT-Nを用いて説明します。
なお、IX-12KT-NはIX-24KT-Nと比べ、「外線ボタン」の数が以下のとおり異なります。
・IX-24KT-N　　外線ボタン24個
・IX-12KT-N　　外線ボタン12個

●IX-24KTAPF-Nは、IX-24KT-Nと同様です。
ただし、IX-24KTAPF-Nで内線延長ユニット(IX-24KT-EXT)のご利用はできません。

目　次

1 セットの内容

本体

キーシート

●カバーの穴の周囲などに、キズに見えるスジが入っていることがあります。
これはプラスチックの成型過程で生じるものであり、構造上及び機能上は問題はありません。

2 各部の名前とはたらき

前面

※：ダイヤルボタン［5］の部分に突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方の操作を容易にするためのものです。

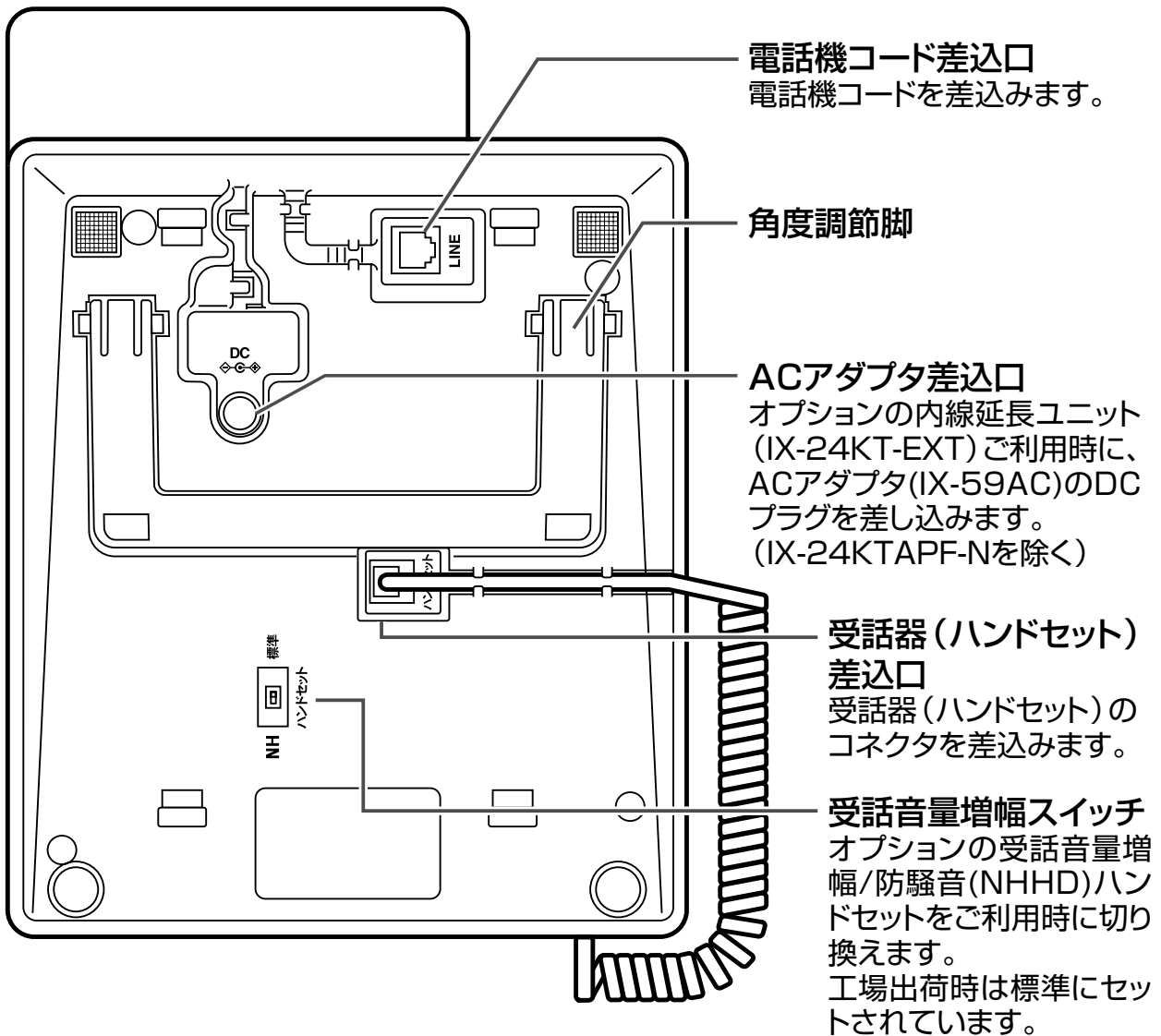
底面

電話機コード差込口
電話機コードを差込みます。

角度調節脚

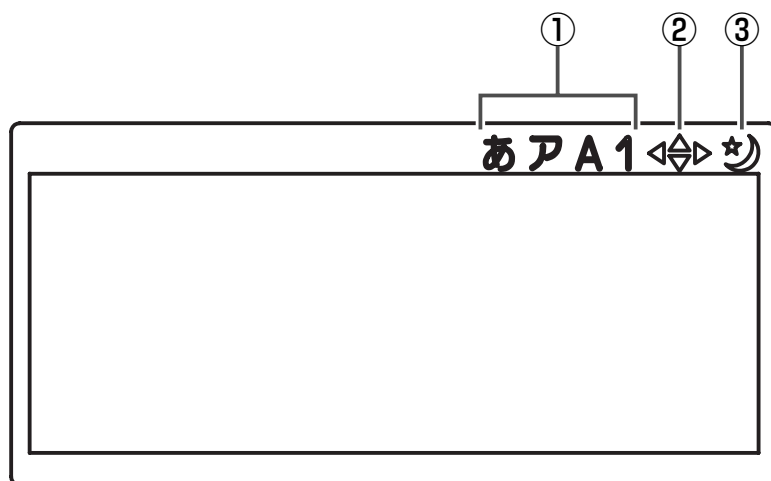
ACアダプタ差込口
オプションの内線延長ユニット（IX-24KT-EXT）ご利用時に、ACアダプタ(IX-59AC)のDCプラグを差し込みます。（IX-24KTAPF-Nを除く）

受話器（ハンドセット）差込口
受話器（ハンドセット）のコネクタを差込みます。

受話音量増幅スイッチ
オプションの受話音量増幅/防騒音(NHHD)ハンドセットをご利用時に切り換えます。
工場出荷時は標準にセットされています。

●ヘッドセットはご利用できません。
●オプションの工事及び設定ははお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

⚠ 注意

●受話音量増幅スイッチを『NH』に切り換えている場合は、標準ハンドセットは絶対に使用しないでください。
受話器から過大音量が発生して耳に衝撃を受ける場合があります。

ディスプレイの見方

名前とはたらき

① 入力モードマーク	電話帳ダイヤルなど、文字を入力するときのモードを表示します。
② スクロールマーク	表示中の項目を十字ボタンでスクロールできるときに表示されます。
③ ナイトモードマーク	夜間モード時に表示されます。

● ディスプレイに表示される文字は、この操作マニュアルでの字体とは異なります。

ボタン(ランプ)表示

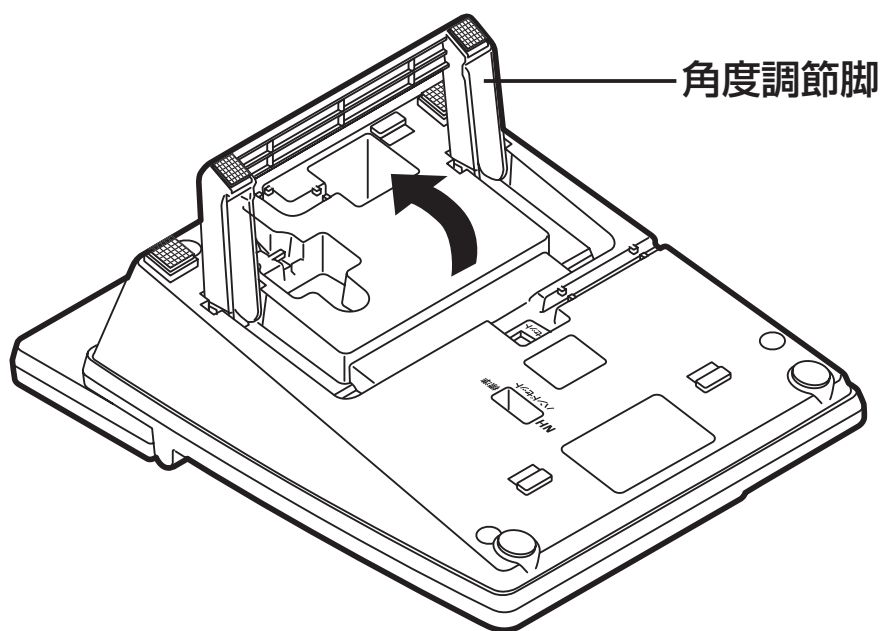
ランプの種類	ランプのつき方	電話機の状態
外線ボタン（ランプ）	点灯中に2回消える（緑）	自分の電話機で通話中
	点灯（赤）	他の内線電話機が自分以外の相手と通話中
	点滅（赤）	電話がかかってきた
	遅い点滅（赤）	他の内線電話機が保留中
	遅い点滅（緑）	自分の電話機で保留中
内線ボタン（ランプ）	点滅（赤）	内線で呼び出されている
	点灯中に2回消える（赤）	自分の電話機で内線通話中
	遅い点滅（赤）	自分の電話機で内線を保留中
フレキシブルボタン（ランプ）	点灯（赤）	割り付ける機能により異なります
	点滅（赤）	
	遅い点滅（赤）	
機能ボタン（ランプ）	点滅（赤）	機能ボタンを使った操作をしている
スピーカボタン（ランプ）	点滅（赤）	スピーカを使用している
着信ランプ／ボイスメールメッセージランプ	点滅（赤）	電話がかかってきた
	点灯（緑）	ボイスメールメッセージがある

3 お使いいただく前に

電話機の角度を調整する／キーシートをセットする

電話機の角度を調整する

1 電話機本体を裏がえします。

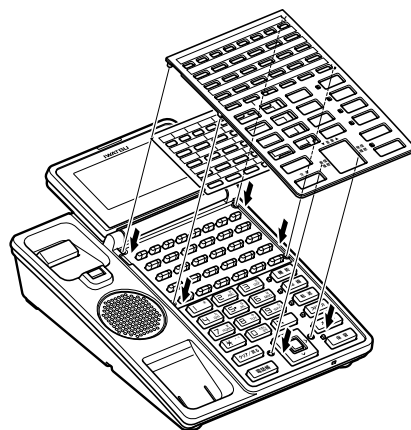
2 角度調節脚を引き起こし、角度を調整します。

⚠ 注意

●角度調節脚を引き起こすときは、無理な力を加えないでください。電話機本体と角度調節脚の接合部分が破損することがあります。

キーシートをセットする

1 カバー上部左を指で持ち上げカバーとシートを取り外します。

2 キーシートにフレキシブルボタンに登録した内容などを書き込みます。

3 キーシートとカバーを元に戻します。カバー6か所の突起を押して取りつけます。

「メニュー」ボタンの操作方法／操作一覧

電話機から メニュー を操作して各種機能の設定を行うことができます。

1 **受話器を置いた状態で、メニュー を押します。**

2 **（下ボタン）または（上ボタン）を押して目的のメニューを表示させます。**

3 **設定する内容を選び、（決定ボタン）を押します。**

4 **待ち受け状態に戻るには、もう一度 メニュー を押します。**

●（決定ボタン）のかわりに クリア／戻る を押すとひとつ前の画面に戻ることができます。
●メニューの表示内容一覧は下記をご覧ください。

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層
1 電話機設定	1 着信音	1外線着信音	－
		2外線個別着信音	－
		3内線着信音	－
	2音量調整	1外線スピーカ音量	－
		2内線スピーカ音量	－
		3受話音量	－
		4外線着信音量	－
		5内線着信音量	－
		6BGM音量	－
	3画面コントラスト調整	－	－
	4電話機名称	－	－
	5ケータイWebリンク設定	1携帯電話番号	－
		2ログインパスワード変更	－
2電話帳編集	1電話帳登録	－	－
	2個別電話帳全削除	－	－
	3電話帳グループ名変更	－	－
3不在転送設定（注１）	1転送動作	－	－
	2転送モード	－	－
	3転送先	－	－

注１）システムのデータ設定で選択できない場合があります。

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層
4ボイスメール設定	1個別ボックス	1留守録応答メッセージ	–
		2留守録モニタ開始方法	–
		3留守録自動発報設定	1発報先ダイヤル
			2発報タイミング
			3定刻発報時刻 1
			4定刻発報時刻 2
			5定刻発報時刻 3
			6定刻発報時刻 4
		4メッセージ自動消去設定	–
		5録音お知らせメール	1メール送信動作
			2宛先Eメールアドレス設定
		6音声ファイル添付	1自動送信メールアドレス
			2手動送信メールアドレス
		9再生パスワード変更	–
		0設定パスワード変更	–
	2留守番グループボックス	1留守録応答メッセージ	–
		2留守録モニタ開始方法	–
		3留守録自動発報設定	1発報先ダイヤル
			2発報タイミング
			3定刻発報時刻 1
			4定刻発報時刻 2
			5定刻発報時刻 3
			6定刻発報時刻 4
		4メッセージ自動消去設定	–
		5録音お知らせメール	1メール送信動作
			2宛先Eメールアドレス設定

（次ページへ続く）

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層
4 ボイスメール設定	2 留守番グループボックス	6 音声ファイル添付	1 自動送信メールアドレス
			2 手動送信メールアドレス
		7 留守番スケジュール	1 スケジュール登録
			2 スケジュール特定日設定
			3 スケジュール即時適用
		9 再生パスワード変更	−
		0 設定パスワード変更	−
	3 同報ボックス	1 所属ボックス設定	−
		0 設定パスワード変更	−
5 個人情報削除	1 発信着信履歴全削除	−	−
	2 個別電話帳全削除	−	−
6 キー割付設定（注２）	−	−	−
0 システム設定（注３）	1 ＳＬＴ/ＦＡＸダイヤル種別	−	−
	2 保留音	−	−
	3 日付と時刻変更	−	−
	4 サブシステム名称	−	−
	5 メール基本情報設定	1 折り返し電話番号	−
		2 コメント	−
		3 送信元Eメールアドレス	−
	6 ケータイWebリンク設定	1 ログインパスワード設定	−
		2 システムパスワード変更	−
	7 夜間サービス	1 夜間切替えスケジュール	1 スケジュール登録
			2 スケジュール即時適用
		2 分散切替えスケジュール	1 スケジュール登録
			2 スケジュール即時適用
		3 スケジュール特定日設定	−
	8 迷惑電話設定	1 新規登録	−
		2 一覧表示／編集	−
		3 全件削除	−

注２）キー割付設定電話機のみで表示され、選択することができます。
注３）システム電話機のみで表示され、選択することができます。

「機能」ボタンの使い方について

多機能電話機のさらに便利な使い方

「機能」ボタンと「0」～「9」のダイヤルボタン、「＊」、「#」ボタンを組み合わせて、以下のような豊富な機能の操作ができます。主に、電話機のフレキシブルボタンに機能が登録されていない場合に使用します。

操　作	機能の名称	用　途
「機能」「1」「1」	ロングフラッシュ（フック）	ダイヤル途中でかけ直しするときに使用します
「機能」「1」「2」	ショートフラッシュ	ショートフラッシュ信号を送出するときに使用します
「機能」「1」「3」	ダイヤルリバース（プッシュ）	プッシュ信号を送出できます
「機能」「1」「4」	秘話解除	通話中の外線に割り込みができます
「機能」「2」「1」	セーブナンバリダイヤル	ダイヤルした番号を記憶させ、再びかけ直すことができます
「機能」「2」「2」	メモダイヤル	通話中に別の電話番号を記憶させ、かけ直すことができます
「機能」「2」「3」	外線予約（トランクキューイング）	外線の使用予約ができます
「機能」「2」「4」	外線時間予約（タイムドトランクキューイング）	指定時間後の外線使用予約ができます
「機能」「3」「1」	グループ内代理応答	同じ内線グループにかかってきた電話に別の電話機で応答できます
「機能」「3」「2」	グループ外代理応答	他の内線グループにかかってきた電話に別の電話機で応答できます
「機能」「3」「3」	個別代理応答	着信している電話機の番号をダイヤルして代わりに応答できます
「機能」「3」「4」	パーク応答（コールパークピックアップ）	パーク保留に応答するときに使用します
「機能」「3」「5」	ページ応答（ミート・ミー応答）	スピーカ呼び出しに応答するときに使用します
「機能」「4」「1」	タイムコール	設定した時刻に電話機を鳴らしてお知らせします
「機能」「4」「2」	モーニングコール	指定した時刻に電話機を鳴らし、メッセージを流します
「機能」「4」「3」	内線コールバック	通話中の内線通話が終了したことをお知らせします
「機能」「4」「4」	電話機パスワード	外線の発信規制ができます
「機能」「4」「5」	音声案内再生	音声メッセージを再生します
「機能」「4」「6」	モーニングコール	依頼されたモーニングコールの内容を相手先の内線電話機に設定します

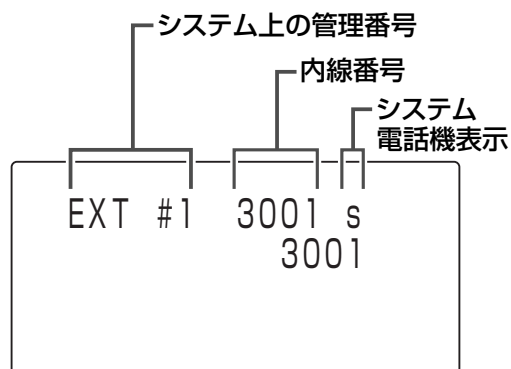
（次ページへ続く）

操　作	機能の名称	用　途
「機能」「4」「7」	グループモーニングコール	モーニングコールを一斉に設定するときに使用します
「機能」「6」「1」	マイク	マイクのON・OFFの切り替えを行うことができます（マイクOFFの場合:「機能」「0」「6」「1」の操作になります）
「機能」「6」「2」	BGM	スピーカからBGMを流します
「機能」「6」「3」	LCD表示切り替え	ディスプレイの表示内容を切り替えることができます
「機能」「6」「4」	時刻調整	時刻の調整を行うことができます
「機能」「6」「5」	内着モード切り替え	内線着信を音声着信、トーン着信のどちらかに指定できます
「機能」「7」「1」	通話料金表示（前回分）	前回通話した1回分の料金を表示します
「機能」「7」「2」	通話料金表示（本日分）	当日分の料金を表示します
「機能」「7」「3」	通話料金表示（今月分）	当月分の料金を表示します
「機能」「7」「4」	通話料金表示（先月分）	先月分の料金を表示します
「機能」「7」「5」	グループ予算額設定、グループ使用率表示	内線グループ（部署など）別の予算額に対する使用率を表示します
「機能」「9」「9」	自内線番号表示	自分の電話機の内線番号を表示します
「機能」「#」「9」	ボタン案内	各ボタンに何が割り当ててあるか確認できます

システム電話機（親機）の確認方法

システム電話機は、以下の操作で確認できます。

1 受話器を置いた状態で、[機能]＋[9] [9] を押します。

• システム電話機は、内線番号の後に“s”が表示されます。

4 基本的な登録／設定

時刻を設定する

システム電話機にてシステム内の日時を設定することができます。

● 設定方法

1 受話器を置いた状態で、[メニュー]を押します。

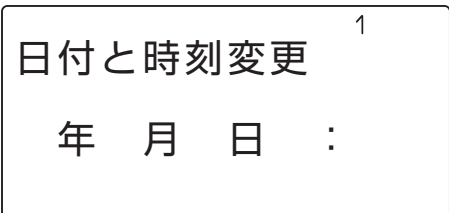
• メインメニュー画面が表示されます。

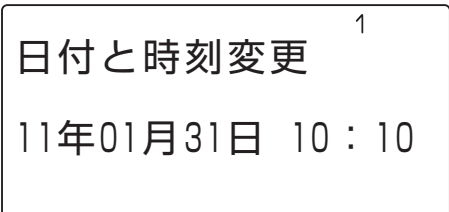
1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

4 ﾎﾞｲｽﾒｰﾙ設定
5 個人情報削除
0 ｼｽﾃﾑ設定

2 (上下ボタン)で「0　システム設定」を選択し、(決定ボタン)を押します。

• システム設定画面が表示されます。

1 SLT/FAXﾀﾞｲﾔﾙ種別
2 保留音
3 日付と時刻変更

3 (上下ボタン)で「3　日付と時刻変更」を選択し、(決定ボタン)を押します。

• 日付と時刻変更画面が表示されます。

日付と時刻変更　1
年　月　日　：

4 日時を設定します。西暦下2桁と年月日および時刻(24時間表記)を入力し、(決定ボタン)を押します。

日付と時刻変更　1
11年01月31日　10：10

5 待ち受け状態に戻るには、もう一度[メニュー]を押します。

Note

●時刻の調整は「機能」＋「6」「4」ボタン操作からも行うことができます。
操作方法は、「取扱説明書－基本編－」をご参照ください。

画面コントラストを調整する

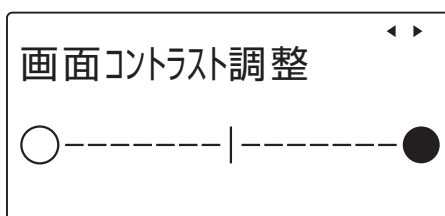
1 受話器を置いた状態で、メニューを押します。

• メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

2 (上下ボタン)で「1　電話機設定」を選択し、(決定ボタン)を押します。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

3 (上下ボタン)で「3　画面コントラスト調整」を選択し、(決定ボタン)を押します。

4 (左右ボタン)でコントラストを選択し、(決定ボタン)を押します。

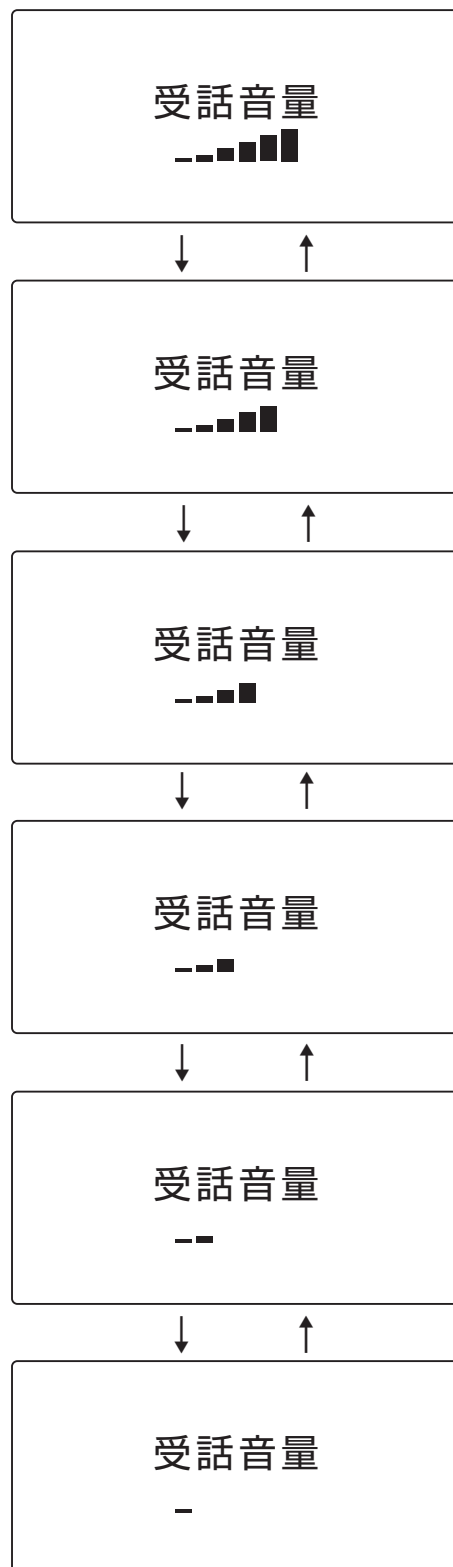
5 待ち受け状態に戻るには、もう一度メニューを押します。

受話音量を調整する

通話をしている間に相手の声の大きさを6段階に調節できます。

1 通話中に(下ボタン)または(上ボタン)を押します。

2 (下ボタン)を押すと受話音量が小さく、(上ボタン)を押すと受話音量が大きくなります。

3 お好みの音量に調節した後、約2秒で元の表示に戻ります。

ちょっと一言!

●通話を終了すると設定した音量は初期値に戻ります。
また、システムの設定によって、通話を終了しても設定した音量を保持するようにもできます。
システムの設定はお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

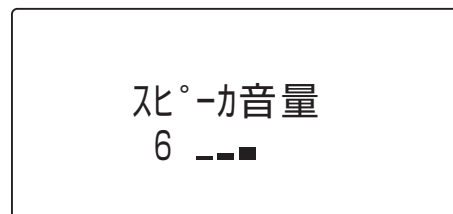
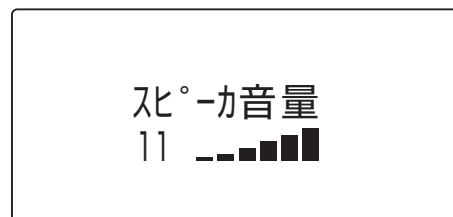
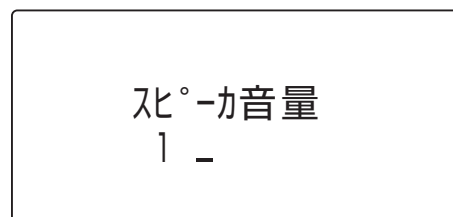
●受話音量の調整は「メニュー」ボタン操作からでも行うことができます。

スピーカ音量を調整する

スピーカ使用中に相手の声の大きさを１１段階に調節できます。

1 通話中(スピーカ使用中)に、(下ボタン)または(上ボタン)を押します。

2 (下ボタン)を押すとスピーカ音量が小さく、(上ボタン)を押すとスピーカ音量が大きくなります。

3 お好みの音量に調節した後、約2秒で元の表示に戻ります。

●スピーカの使用を終了しても、設定した音量は変わりません。

Note

●スピーカ音量(外線、内線)の調整は「メニュー」ボタン操作からでも行うことができます。

着信音量を調整する

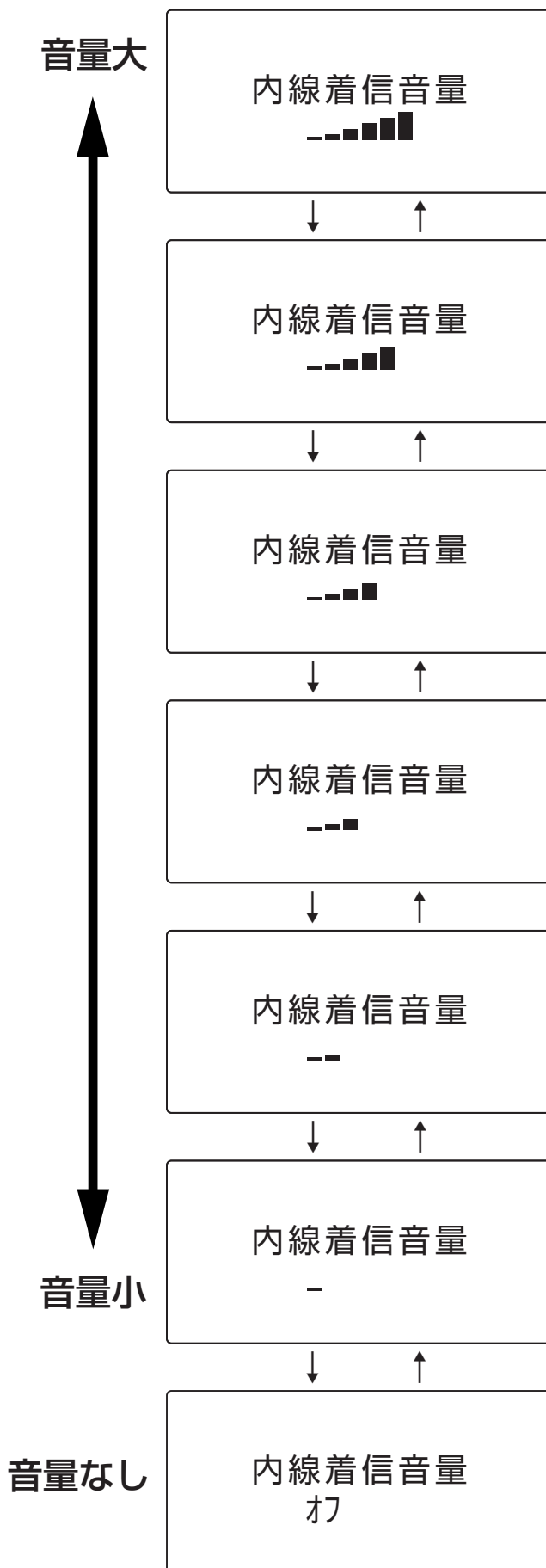
電話がかかってきたときに鳴る着信音の大きさを6段階に調節できます。
また、着信音をオフにすることもできます。

1 待ち受け状態、または着信中に(下ボタン)または(上ボタン)を押します。

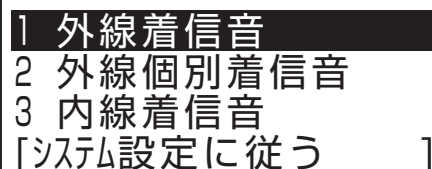
2 (下ボタン)を押すと着信音量が小さく、(上ボタン)を押すと着信音量が大きくなります。

3 お好みの音量に調節した後、約2 秒で元の表示に戻ります。

Note

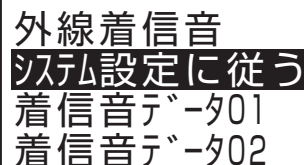
- 着信中に調整する場合は、外線または、内線着信が鳴音しているときに操作してください。BGM送出時は、BGM音量の調節になります。待機中は、外線着信音量の調節となります。
- 外線、内線着信音量の調整は「メニュー」ボタン操作からでも行うことができます。

「メニュー」ボタンから各種音量を調整する（着信音設定）

外線着信音を設定する

1 受話器を置いた状態で、[メニュー]を押します。

• メインメニュー画面が表示されます。

```
                 ◆
1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定
```

2 (上下ボタン)で「1　電話機設定」を選択し、(決定ボタン)を押します。

```
                 ◆
1 着信音
2 音量調整
3 画面ｺﾝﾄﾗｽﾄ調整
```

3 (上下ボタン)で「1　着信音」を選択し、(決定ボタン)を押します。

```
1 外線着信音
2 外線個別着信音
3 内線着信音
[ｼｽﾃﾑ設定に従う      ]
```

4 (上下ボタン)で「1　外線着信音」を選択し、(決定ボタン)を押します。

```
                 ◆
外線着信音
ｼｽﾃﾑ設定に従う
着信音ﾃﾞｰﾀ01
着信音ﾃﾞｰﾀ02
```

5 (上下ボタン)にて「システム設定に従う」或いは着信音データ1から20までのいずれかを選択し、(決定ボタン)を押します。

6 待ち受け状態に戻るには、もう一度[メニュー]を押します。

Note

●着信音データ（１～２０）の鳴音パターンは、主装置の取扱説明書ー基本編ーをご参照ください。

●外線着信とは、局線代表着信とダイヤルイン着信時の複数端末への鳴音指定を差します。外線個別着信とは、DISA、ダイヤルイン着信時の1台の端末への鳴音指定を差します。

外線個別着信音を設定する

1 受話器を置いた状態で、［メニュー］を押します。

• メインメニュー画面が表示されます。

```
1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定
```

2 （上下ボタン）で「1 電話機設定」を選択し、（決定ボタン）を押します。

```
1 着信音
2 音量調整
3 画面ｺﾝﾄﾗｽﾄ調整
```

3 （上下ボタン）で「1　着信音」を選択し、（決定ボタン）を押します。

```
1 外線着信音
2 外線個別着信音
3 内線着信音
[ｼｽﾃﾑ設定に従う        ]
```

4 （上下ボタン）で「2 外線個別着信音」を選択し、（決定ボタン）を押します。

```
外線個別着信音
ｼｽﾃﾑ設定に従う
着信音ﾃﾞｰﾀ01
着信音ﾃﾞｰﾀ02
```

5 （上下ボタン）にて「システム設定に従う」或いは着信音データ1から20までのいずれかを選択し、（決定ボタン）を押します。

6 待ち受け状態に戻るには、もう一度［メニュー］を押します。

Note

●着信音データ（１～２０）の鳴音パターンは、主装置の取扱説明書ー基本編ーをご参照ください。

●外線着信とは、局線代表着信とダイヤルイン着信時の複数端末への鳴音指定を差します。外線個別着信とは、DISA、ダイヤルイン着信時の1台の端末への鳴音指定を差します。

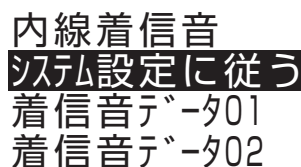
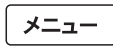
内線着信音を設定する

1 受話器を置いた状態で、[メニュー]を押します。

• メインメニュー画面が表示されます。

```
1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定
```

2 (上下ボタン)で「1 電話機設定」を選択し、(決定ボタン)を押します。

```
1 着信音
2 音量調整
3 画面ｺﾝﾄﾗｽﾄ調整
```

3 (上下ボタン)で「1　着信音」を選択し、(決定ボタン)を押します。

```
1 外線着信音
2 外線個別着信音
3 内線着信音
[ｼｽﾃﾑ設定に従う          ]
```

4 (上下ボタン)で「3 内線着信音」を選択し、(決定ボタン)を押します。

```
内線着信音
ｼｽﾃﾑ設定に従う
着信音ﾃﾞｰﾀ01
着信音ﾃﾞｰﾀ02
```

5 (上下ボタン)にて「システム設定に従う」或いは着信音データ1から20までのいずれかを選択し、(決定ボタン)を押します。

6 待ち受け状態に戻るには、もう一度[メニュー]を押します。

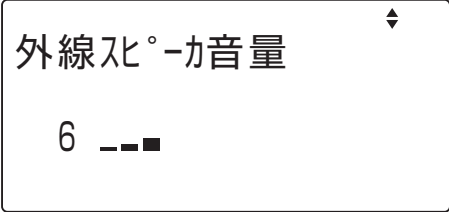
●着信音データ(１～２０)の鳴音パターンは、主装置の取扱説明書ー基本編ーをご参照ください。

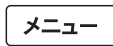
「メニュー」ボタンから各種音量を調整する(音量調整)

外線スピーカ音量を調整する

1 受話器を置いた状態で、[メニュー]を押します。
- メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

2 (上下ボタン)で「1　電話機設定」を選択し、(決定ボタン)を押します。

1 着信音
2 音量調整
3 画面ｺﾝﾄﾗｽﾄ調整

3 (上下ボタン)で「2　音量調整」を選択し、(決定ボタン)を押します。

1 外線ｽﾋﾟｰｶ音量
2 内線ｽﾋﾟｰｶ音量
3 受話音量

4 (上下ボタン)で「1　外線スピーカ音量」を選択し、(決定ボタン)を押します。

外線ｽﾋﾟｰｶ音量

6

5 (上下ボタン)で１から１１段階までのいずれかを選択し、(決定ボタン)を押します。

6 待ち受け状態に戻るには、もう一度[メニュー]を押します。

●本メニューで設定した音量レベルは、毎回の通話で有効になります。

内線スピーカ音量を調整する

1 受話器を置いた状態で、［メニュー］を押します。

• メインメニュー画面が表示されます。

```
1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定
```

2 （上下ボタン）で「1 電話機設定」を選択し、（決定ボタン）を押します。

```
1 着信音
2 音量調整
3 画面ｺﾝﾄﾗｽﾄ調整
```

3 （上下ボタン）で「2 音量調整」を選択し、（決定ボタン）を押します。

```
1 外線ｽﾋﾟｰｶ音量
2 内線ｽﾋﾟｰｶ音量
3 受話音量
```

4 （上下ボタン）で「2 内線スピーカ音量」を選択し、（決定ボタン）を押します。

```
内線ｽﾋﾟｰｶ音量

  6
```

5 （上下ボタン）で1から11段階までのいずれかを選択し、（決定ボタン）を押します。

6 待ち受け状態に戻るには、もう一度［メニュー］を押します。

●本メニューで設定した音量レベルは、毎回の通話で有効になります。

受話音量を調整する

1 受話器を置いた状態で、[メニュー]を押します。

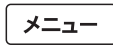
• メインメニュー画面が表示されます。

```
1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定
```

2 (上下ボタン)で「1 電話機設定」を選択し、(決定ボタン)を押します。

```
1 着信音
2 音量調整
3 画面ｺﾝﾄﾗｽﾄ調整
```

3 (上下ボタン)で「2 音量調整」を選択し、(決定ボタン)を押します。

```
1 外線ｽﾋﾟｰｶ音量
2 内線ｽﾋﾟｰｶ音量
3 受話音量
```

4 (上下ボタン)で「3 受話音量」を選択し、(決定ボタン)を押します。

```
受話音量
```

5 (上下ボタン)で1から6段階までのいずれかを選択し、(決定ボタン)を押します。

6 待ち受け状態に戻るには、もう一度[メニュー]を押します。

●この設定を有効にするには、データ設定の変更が必要になります。

外線着信音量を調整する

1 受話器を置いた状態で、メニューを押します。

• メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

2 (上下ボタン)で「1 電話機設定」を選択し、(決定ボタン)を押します。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

3 (上下ボタン)で「2 音量調整」を選択し、(決定ボタン)を押します。

4 外線着信音量
5 内線着信音量
6 BGM音量

4 (上下ボタン)で「4 外線着信音量」を選択し、(決定ボタン)を押します。

外線着信音量

5 (上下ボタン)で0から4段階までのいずれかを選択し、(決定ボタン)を押します。

6 待ち受け状態に戻るには、もう一度メニューを押します。

内線着信音量を調整する

1 受話器を置いた状態で、メニューを押します。

- メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

2 (上下ボタン)で「1 電話機設定」を選択し、(決定ボタン)を押します。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

3 (上下ボタン)で「2 音量調整」を選択し、(決定ボタン)を押します。

4 外線着信音量
5 内線着信音量
6 BGM音量

4 (上下ボタン)で「5 内線着信音量」を選択し、(決定ボタン)を押します。

内線着信音量

5 (上下ボタン)で0から6段階までのいずれかを選択し、(決定ボタン)を押します。

6 待ち受け状態に戻るには、もう一度メニューを押します。

BGM音量を調整する

1 受話器を置いた状態で、メニューを押します。

• メインメニュー画面が表示されます。

```
1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定
```

2 (上下ボタン)で「1 電話機設定」を選択し、(決定ボタン)を押します。

```
1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整
```

3 (上下ボタン)で「2 音量調整」を選択し、(決定ボタン)を押します。

```
4 外線着信音量
5 内線着信音量
6 BGM音量
```

4 (上下ボタン)で「6 BGM音量」を選択し、(決定ボタン)を押します。

```
BGM音量
```

5 (上下ボタン)で0から6段階までのいずれかを選択し、(決定ボタン)を押します。

6 待ち受け状態に戻るには、もう一度メニューを押します。

5 電話帳(短縮)を登録する

電話帳を登録する

システムが持っている電話帳に相手先の情報を登録できます。
電話帳に登録しておくことで、登録した名前をスクロールして検索したり、発信に便利な機能(短縮発信、検索発信など)が使用できます。携帯電話の操作感覚で使えます。

電話帳登録できる件数は、使用する短縮番号の桁数により異なります。

種類	最大登録件数		
	短縮番号2桁	短縮番号3桁	短縮番号4桁
システム電話帳	合計90件	合計900件	合計9000件
内線グループ電話帳(グループ全体)			
個別電話帳(電話機ごと)	10件	100件	500件

■対象(制限)電話機数

個別電話帳の対象電話機数は、以下の通りです。

電話帳件数	対象電話機数
10件	1024台
100件	300台
500件	60台

■電話帳項目

以下の内容を電話帳に設定することが出来ます。

- 名前：一覧表示に使用する名前を登録します。
- ヨミガナ：検索に使用するヨミガナを登録します。
- 発信先：発信先(外線/内線) を登録します。
- 電話番号：外線の場合は相手先電話番号、内線の場合は内線番号を登録します。
- 短縮番号：短縮ダイヤル発信時に使用する短縮番号を登録します。
- 電話帳グループ：電話帳データが所属するグループを登録します。
- 発信グループ：発信先が外線の場合、局線発信グループを登録します。

Note

- システム電話帳、内線グループ電話帳は、システム電話機またはあらかじめ決められた電話機で登録が行えます。
- 個別電話帳は、各電話機から登録が行えます。
- 電話帳登録データと短縮ダイヤル登録データは同一のデータです。
- 短縮番号の桁数を2桁または3桁でご使用になる場合は、あらかじめ設定が必要です。お買い求め時(初期値)のシステム電話帳・内線グループ電話帳の桁数は4桁です。
- 各電話帳における電話番号は、最大3番号まで登録可能です。

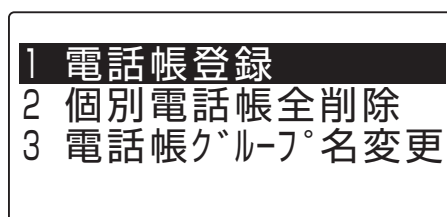
新規に登録する

下記の内容を登録する場合を例にとって、登録操作を説明します。
名前：鈴木一郎、電話番号：03-XXXX-5678、
電話帳グループ：グループ2、外線発信グループ：1

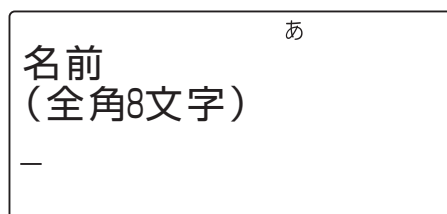
1 受話器を置いた状態で、[メニュー]を押します。
• メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

2 (上下ボタン)で「2 電話帳編集」を選択し、(決定ボタン)を押します。
• 電話機設定選択画面が表示されます。

1 電話帳登録
2 個別電話帳全削除
3 電話帳ｸﾞﾙｰﾌﾟ名変更

3 (上下ボタン)で「1 電話帳登録」を選択し、(決定ボタン)を押します。
• 登録モード選択画面が表示されます。

4 (上下ボタン)で「1 名前」を選択し、(決定ボタン)を押します。
• 名称の入力画面が表示されます。

あ
名前
（全角8文字）
_

●手順1～3の代わりに、[機能][短縮]の順に押した場合も、電話帳の登録モード選択画面が表示されます。
●登録操作を途中でキャンセルする場合は、いったん受話器を取り上げ、受話器を置いてください。
●登録中の画面で一定時間（3分）操作を行わない状態が続くと、操作画面は終了し、電話機は待ち受け状態になります。
●何らかの理由で登録できない場合は、登録不可のメッセージが3秒間表示され、入力前の状態に戻ります。再度入力し直してください。
●手順1～3で[機能][短縮]の順に押して登録する場合は、あらかじめ設定が必要です。お買い求めの販売店にお問い合せください。

（次ページへ続く）

5 登録先の名称(姓)を入力します。

例：すずき

① す　　：[3 さDEF]を3回押す

② す　　：右ボタンを押して、右に1文字移動し、[3 さDEF]を3回押す

③ ゛（濁点）：[＊ ゛゜]を1回押す。

④ き　　：[2 かABC]を2回押す

※登録先の名称(姓＋名)は、ひらがな・漢字は全角8文字、カタカナ・英数字は半角16文字まで入力できます。

※文字入力の詳細については、「文字の入力方法」(44ページ)を参照してください。

```
                    あ
名前
(全角8文字)

すずき
```

6 上下ボタンを押します。

• カーソル位置までの変換候補が表示されます。

7 上下ボタンを押し、目的の候補を選択し、決定ボタンを押します。

```
                    あ
名前
(全角8文字)
鈴木_
```

8 登録先の名称(名)を入力します。

例：いちろう

い：[1 あ]を2回押す

ち：[4 たGHI]を2回押す

ろ：[9 らWXYZ]を5回押す

う：[1 あ]を3回押す

※文字入力の詳細については、「文字の入力方法」(44ページ)を参照してください。

```
                    あ
名前
(全角8文字)
鈴木
いちろう
```

9 上下ボタンを押します。

• カーソル位置までの変換候補が表示されます。

10 上下ボタンを押し、目的の候補を選択し、決定ボタンを押します。

11 決定ボタンを押します。

• 名称が確定します。

12 （上下ボタン）で「2　ヨミガナ」を選択し、（決定ボタン）を押します。

※名称の入力時に入力した文字が、読み仮名として表示されます。

13 読み仮名の変更が必要な場合は、修正します。

※読み仮名は、カタカナ・英数字は半角16文字まで入力できます。

※文字入力の詳細については、「文字の入力方法」(44ページ)を参照してください。

14 （決定ボタン）を押します。

• 読み仮名が確定します。

15 （上下ボタン）で「3　電話番号1」を選択し、（決定ボタン）を押します。

• 発信先の選択画面が表示されます。

※電話番号2・電話番号3の登録も手順15～18に従ってください。

発信先
1 外線
2 内線

16 （上下ボタン）で登録する電話番号が外線であるか内線であるかを選択し、（決定ボタン）を押します。

1
電話番号1
(32桁)

17 電話番号(32桁以内)を押します。

• 入力されたダイヤルが表示されます。
例：03XXXX5678

※制御コードの入力については、「文字の入力方法」(47ページ)を参照してください。

18 （決定ボタン）を押します。

• 電話番号が確定します。

（次ページへ続く）

19 (上下ボタン)で「7 電話帳グループ」を選択し、(決定ボタン)を押します。

7 電話帳ｸﾞﾙｰﾌﾟ
8 発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ
[ｸﾞﾙｰﾌﾟなし]㊡登録

20 (上下ボタン)で、指定する電話帳グループを選択し、(決定ボタン)を押します。

例：グループ02
電話帳グループの選択を確定します。

電話帳ｸﾞﾙｰﾌﾟ
ｸﾞﾙｰﾌﾟなし
ｸﾞﾙｰﾌﾟ01
ｸﾞﾙｰﾌﾟ02

21 (上下ボタン)で「8 発信グループ」を選択し、(決定ボタン)を押します。

7 電話帳ｸﾞﾙｰﾌﾟ
8 発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ
[0]㊡登録

22 外線発信グループ番号(００～６０)を押します。

例：発信グループ01
外線発信グループの選択を確定します。

23 (決定ボタン)を押します。

7 電話帳ｸﾞﾙｰﾌﾟ
8 発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ
[0]㊡登録

●登録操作を途中でキャンセルする場合は、いったん受話器を取り上げ、受話器を置いてください。

●指定可能な短縮番号

種類	短縮番号2桁	短縮番号3桁	短縮番号4桁
システム短縮ダイヤル	00～89	000～899	0000～8999
内線グループ短縮ダイヤル	－	－	1000～1999
個別短縮ダイヤル	90～99	900～999	9000～9499

●短縮番号として、登録済みの番号を指定した場合は、以前に登録されていた内容が上書きされますのでご注意願います。

●主装置がMタイプの場合、外線発信グループ番号は「００～６０」、Lタイプの場合は「０００～２５０」となります。
主装置のタイプについては、お買い求めの販売店にお問い合せください。

24 **短縮番号の変更が必要な場合は、（上下ボタン）で「6　短縮番号」を選択し、（決定ボタン）を押します。**

• 登録先選択画面が表示されます。

```
登録先
1 個別電話帳
2 システム電話帳
```

25 **個別電話帳に指定する場合、「1　個別電話帳」を選択し、（決定ボタン）を押します。**

• 入力画面が表示されます。

```
                    1
短縮番号
(90-99)
                   90
```

26 **短縮番号（９０～９９）をダイヤルします。**

```
                    1
短縮番号
(90-99)
                   90
```

27 **システム電話帳に指定する場合、「2　システム電話帳」を選択し、（決定ボタン）を押します。**

• 入力画面が表示されます。

```
                    1
短縮番号
(0000-8999)
                 0001
```

28 **短縮番号（００００～８９９９）をダイヤルします。**

29 **（決定ボタン）を押します。**

• 短縮番号が確定されます。

30 **［保留］を押します。**

• 登録が完了します。

```
電話帳登録/編集
登録しました
```

発信履歴から登録する

1 受話器を置いた状態で、(発信履歴ボタン)を押します。

• 発信履歴リストが表示されます。

```
03XXXX5555    18:36
03XXXX2222    18:36
3001          12:55
```

2 (上下ボタン)で登録する発信履歴を選択し、(決定ボタン)を押します。

• 発信履歴詳細が表示されます。

```
<登録なし>
03XXXX5555
10年09月16日 18:36
```

3 (決定ボタン)を押します。

• 動作選択表示画面が表示されます。

```
03XXXX5555
1 電話帳登録
2 発信
3 一件削除
```

4 (上下ボタン)で「1　電話帳登録」を選択し、(決定ボタン)を押します。

• 電話帳の登録画面が表示されます。

5 「新規に登録する」(35ページ)の手順4以降と同様に操作します。

●発信履歴リストに表示される相手先は、電話帳に登録されていれば、その名前が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、相手先の電話番号のみ表示されます。

●発信履歴に記録されている電話番号の桁数は、最大32桁です。

●発信履歴リストの電話番号表示は、最大12桁です。

●発信履歴の表示中に、3分間ダイヤル操作がない状態が続くと、発信履歴表示を終了します。なお、着信が行われても履歴表示が継続されます。

●発信履歴の表示中に受話器を上げる、または発信を行うボタンを押すと、発信します。

着信履歴から登録する

1　受話器を置いた状態で、(着信履歴ボタン)を押します。

• 着信履歴リストが表示されます。

03XXXX2222　09/13他
03XXXX2222　09/13他
03XXXX2222　09/13他
03XXXX2222　09/13未

2　(上下ボタン)で登録する着信履歴を選択し、(決定ボタン)を押します。

• 着信履歴詳細が表示されます。

<登録なし>
03XXXX2222
10年09月13日　15：53
他応答　3003　外

3　(決定ボタン)を押します。

• 動作選択表示画面が表示されます。

03XXXX2222
1 電話帳登録
2 迷惑電話防止登録
3 発信

4　(上下ボタン)で「1　電話帳登録」を選択し、(決定ボタン)を押します。

• 電話帳の登録画面が表示されます。

5　「新規に登録する」(35ページ)の手順4以降と同様に操作します。

●着信履歴に記録されている電話番号桁数は、最大16桁です。
●着信時にNTT等から発信者名情報が通知された場合でも、電話帳に相手先名が登録されている場合は、電話帳に登録されている相手先名が着信履歴に記録されます。
●既に電話帳に登録されている、または非通知理由を表示している相手先は、電話帳に登録できません。
●着信履歴の表示中に、3分間ダイヤル操作がない状態が続くと、着信履歴表示を終了します。なお、着信が行われても、履歴表示が継続されます。
●着信履歴の表示中に受話器を上げる、または外線発信を行うボタンを押すと、外線発信します。ただし、着信履歴が非通知で保存されている相手に対しては発信できません。
●履歴リスト上における種別の意味は以下の通りです。
内：内線着信、外：外線着信、他：他者応答、未：未応答、VM：ボイスメール応答

登録内容を編集する

ここでは、前回の検索が「50音訓検索」であった場合を例として説明しています。
前回の検索が、「読み仮名検索」であった場合は、「電話帳を検索してかける（読み仮名検索）」（57ページ）の手順（1）～（3）と同様な操作後に、手順（2）の操作を行ってください。

1 受話器を置いた状態で、[文字 電話帳]を押します。

• 電話帳一覧画面が表示されます。

2 （上下左右ボタン）で登録された電話番号を選択し、（決定ボタン）を押します。

• 登録内容が表示されます。

鈴木一郎
03XXXX5678
ｸﾞﾙｰﾌﾟなし
個別：90

3 （決定ボタン）を押しサブメニューを表示させます。

• サブメニュー画面が表示されます。

鈴木一郎
1 発信 03XXXX5678
2 編集
3 削除

4 （上下ボタン）で「2 編集」を選択し、（決定ボタン）を押します。

• 電話帳の登録画面が表示されます。

5 電話帳の各項目を変更する。

※各項目には既存の値が入っています。必要に応じて変更してください。

6 [保 留]を押し、登録を行います。

7 電話機は待ち受け状態に戻ります。

Note

●編集操作を途中でキャンセルする場合は、いったん受話器を取り上げ、受話器を置いてください。
●登録中や検索中の画面で一定時間（3分）操作を行わない状態が続くと、操作画面は終了し、電話機は待ち受け状態になります。
●何らかの理由で編集できない場合は、登録不可のメッセージが3秒間表示され、入力前の状態に戻ります。再度入力し直してください。
●一般電話機（システム電話機以外）の場合、システム電話帳に登録した電話番号を選択したときは、操作手順 3 の表示は「1 発信」のみ行われます。

登録内容を削除する

ここでは、前回の検索が「50音訓検索」であった場合を例として説明しています。
前回の検索が、「読み仮名検索」であった場合は、「電話帳を検索してかける（読み仮名検索）」（57ページ）の手順（1）～（3）と同様な操作後に、手順（2）の操作を行ってください。

1 受話器を置いた状態で、[文字 電話帳]を押します。

• 電話帳一覧画面が表示されます。

2 （上下左右ボタン）で登録された電話番号を選択し、（決定ボタン）を押します。

• 登録内容が表示されます。

鈴木一郎
03XXXX5678
ｸﾞﾙｰﾌﾟなし
個別：90

3 （決定ボタン）を押しサブメニューを表示させます。

• サブメニュー画面が表示されます。

鈴木一郎
1 発信 03XXXX5678
2 編集
3 削除

4 （上下ボタン）で「3　削除」を選び、（決定ボタン）を押します。

5 （上下ボタン）で「はい」を選択し、（決定ボタン）を押します。

• 削除が完了します。

鈴木一郎
削除しますか？
はい
いいえ

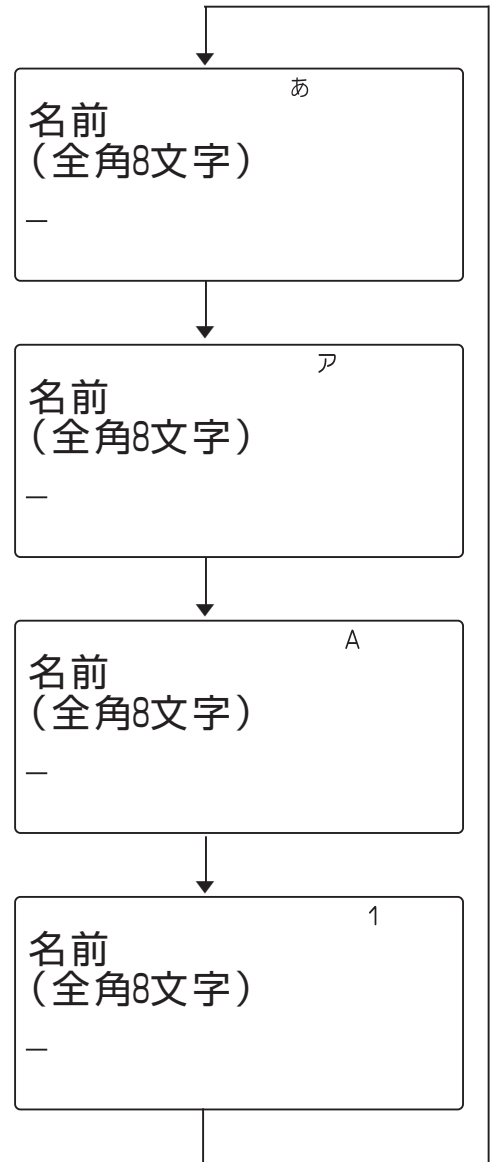
6 電話機は待ち受け状態に戻ります。

●編集操作を途中でキャンセルする場合は、いったん受話器を取り上げ、受話器を置いてください。
●登録中や検索中の画面で一定時間（3分）操作を行わない状態が続くと、操作画面は終了し、電話機は待ち受け状態になります。
●一般電話機（システム電話機以外）の場合、システム電話帳に登録した電話番号を選択したときは、操作手順3の表示は「1 発信」のみ行われます。

文字の入力方法

電話帳ダイヤルの登録などで文字を入力します。文字入力時には、「漢字」「ひらがな」「カタカナ」「英字」「数字」「記号」を入力することができます。［文字 電話帳］を押して入力モードを選択し、ダイヤルボタンで希望する文字を表示させて入力します。

1 ［文字 電話帳］を押して入力モードを選択します。

- ひらがなモード
  漢字、ひらがなを入力することができます。
- 半角カタカナモード
  半角カタカナを入力することができます。
- 半角英字モード
  半角英字、記号を入力することができます。
- 半角数字モード
  半角数字を入力することができます。

2 文字を入力します。

ひらがなモードの場合

【例】「岩崎」と入力する場合

1. [1 あ]を2回、[0 わをん 記号]を1回、[3 さ DEF]を1回、[2 か ABC]を2回押します。

名前
（全角8文字）
いわさき

2. （上ボタン）または（下ボタン）で文字を変換します。
   - 漢字候補→全角カタカナ→ひらがな⇒半角カタカナ
   - 入力したい文字に変換できない場合は、（左ボタン）または（右ボタン）で変換対象を漢字1文字分にしたり、濁点や半濁点をはずしたり、読み方を変えて（音読み／訓読み）入力し直してください。

名前
（全角8文字）
[岩崎]

3. 入力したい文字が表示されたら（決定ボタン）を押します。
   - 確定された文字が上段に移動します。

名前
（全角8文字）
岩崎_

カタカナモードの場合

【例】「ｲﾜｻｷ」と入力する場合

1. [1 あ]を2回、[0 わをん 記号]を1回、[3 さ DEF]を1回、[2 か ABC]を2回押します。
   - カタカナをそのまま入力したい場合は（決定ボタン）を押します。

名前
（全角8文字）
ｲﾜｻｷ

2. （上ボタン）または（下ボタン）で文字を変換します。
   - 半角カタカナ→全角カタカナ

名前
（全角8文字）
[イワサキ]

（次ページへ続く）

3. 入力したい文字が表示されたら(決定ボタン)を押します。
• 確定された文字が上段に移動します。

ア
名前
(全角8文字)
ｲﾜｻｷ_

英字モードの場合

【例】「KT」と入力する場合
1. 5 JKLを2回、8 TUVを1回押します。

A
名前
(全角8文字)
KT

2. (決定ボタン)を押します。
• 確定された文字が上段に移動します。

A
名前
(全角8文字)
KT_

数字モードの場合

【例】「123」と入力する場合
1. 1 あ、2 ABC、3 DEFの順に押します。

1
名前
(全角8文字)
123

2. (決定ボタン)を押します。
• 確定された文字が上段に移動します。

1
名前
(全角8文字)
123_

ちょっと一言!

● 文字が割り当てられているボタンを、入力したい文字が表示されるまで繰り返し押してください。
入力したい文字が表示されたら、次の入力したい文字のボタンを押してください。入力が確定します。
続けて同じボタンの文字を入力したいときは、#を押してカーソルを右に移動させてからボタンを押してください。
● 文字入力を間違えたときは、クリア/戻るを押してください。カーソルの位置の1文字が削除され、後ろの文字が詰められます。また、クリア/戻るを1秒以上押し続けることで全文字削除することができます。
● 入力文字を修正したいときは、(左ボタン)または(右ボタン)を押してカーソルを修正したい桁まで移動し、再度入力してください。
● 文字入力はカーソル位置への挿入となります。ただし、入力桁数を超えると入力できなくなります。
● 3分間何も操作が行われない状態が続くと、文字入力はキャンセルされます。

●文字を入力するときのカタカナ／英字／数字の各モードでの入力キーは以下の通りです。

キー	ひらがなモード	半角カタカナモード	半角英字/記号モード	半角数字モード
1 あ	あいうえおぁぃぅぇぉ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	./_@1空白	1
2 か ABC	かきくけこ	ｶｷｸｹｺ	ABCabc2	2
3 さ DEF	さしすせそ	ｻｼｽｾｿ	DEFdef3	3
4 た GHI	たちつてとっ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHIghi4	4
5 な JKL	なにぬねの	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl5	5
6 は MNO	はひふへほ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno6	6
7 ま PQRS	まみむめも	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs7	7
8 や TUV	やゆよゃゅょ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUVtuv8	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz9	9
0 わをん 記号	わをんゎ ー。、！？空白	ﾜｦﾝｰ｡､!?空白	:-~,!?'"()$%#+*= ^`;¥&|{}<>[]0空白	0
＊ ゛゜	゛ ゜	ﾞﾟ	(無効)	*
#	(無効)	(無効)	定型句選択	#
文字 電話帳	半角カタカナ入力 モードへ切替	半角英字/記号入力 モードへ切替	半角数字入力 モードへ切替	ひらがな入力 モードへ切替
▲	変換候補選択	変換候補選択 (全角/半角)	変換候補選択 (全角/半角)	変換候補選択 (全角/半角)
▼	変換候補選択	変換候補選択 (全角/半角)	変換候補選択 (全角/半角)	変換候補選択 (全角/半角)
◀	カーソル左移動	カーソル左移動	カーソル左移動	カーソル左移動
▶	カーソル右移動	カーソル右移動	カーソル右移動	カーソル右移動
■	候補決定/入力確定	候補決定/入力確定	候補決定/入力確定	候補決定/入力確定
クリア／戻る	１文字消去/変換候補 選択キャンセル	１文字消去/変換候補 選択キャンセル	１文字消去/変換候補 選択キャンセル	１文字消去/変換候補 選択キャンセル
クリア／戻る （長押し）	全文字消去	全文字消去	全文字消去	全文字消去

●制御コードの入力方法

制御コードは、電話番号2桁分に相当します。

制御コード	入力方法	ディスプレイ表示
ポーズ	「保留」ボタンを押し、続けて「1」～「9」ボタン（ポーズの秒数1～9秒）を押します。	ーn ※（n:1～9）
ダイヤルリバース （DP→PB）	「保留」ボタンを押し、続けて「＊」ボタンを押します。	T
ダイヤルリバース （PB→DP）	「保留」ボタンを押し、続けて「#」ボタンを押します。	P
ロングフラッシュ	「フラッシュ」ボタン（または「保留」ボタンを押し、続けて「０」）を押します。	F

6 基本的な使い方

外へ電話をかける　＜外線発信＞

外へ電話をかける　＜一般発信＞

1 空いている外線ボタンを押し、次に受話器を取り上げます。（または[スピーカ]を押します）
- 緑色の外線ランプが点滅します。
- ツーという発信音を確認してください。

2 電話番号をダイヤルし、相手の方が出たら通話します。

短縮ダイヤルをかける　＜短縮ダイヤル＞

1 空いている外線ボタンを押し、次に受話器を取り上げます。（または[スピーカ]を押します）
- 緑色の外線ランプが点滅します。
- ツーという発信音を確認してください。

2 [短縮]、短縮ダイヤルの順にダイヤルし、相手の方が出たら通話します。

外からの電話を受ける　<外線着信>

外からの電話を受ける　<外線着信>

1　着信している外線ボタンを押します。

• 赤色の点滅が緑色に変わります。

2　受話器を取り上げ、通話します。

●システムの設定で局線着信鳴音指定が設定されている電話機で、着信の時に相手のダイヤルが通知されている場合、そのダイヤルが電話帳に登録されていると、電話帳に登録された名前がディスプレイの1行目に表示されます。

●ディスプレイに表示された相手の方の名前は、通話を開始すると消えます。表示が消えた後で相手の方の名前を確認したい場合は、着信記録（62ページ）を参照してください。相手の方の名前がディスプレイに表示されます。

受話器を置いたまま外線と通話する

1　[スピーカ]を押し、受話器を置いて通話します。

2　必要に応じて、[マイク]ボタンを押します。

●通話中は[機能]＋[6 は MNO][1 あ]の特番操作は無効です。

●[マイク]ボタンはフレキシブルボタン登録により割り当てます。もう一度[マイク]ボタンを押すと、内蔵マイクがOFFとなります。[マイク]ボタンの代わりに[機能]＋[0 わをん 記号][6 は MNO][1 あ]を押すと内蔵マイクがＯＦＦになります。

●マイクがオフの時は、受話器を使用して通話をしてください。

●受話器を上げて通話中は、ハンズフリー通話にできません。

●外線通話時は相手の保留音が途切れる事がありますが故障ではありません。

●音量を最大にしても相手の声が小さい時は、受話器で通話してください。

（次ページへ続く）

お願い

ハンズフリー通話時は以下の注意事項をお守りください。

- 通話相手と交互にお話しください。
  同時に話すと相手の音声が途切れる事があります。
- 電話機の前方50cm付近でマイクに向かってお話しください。
  離れすぎるとマイクが音をひろいにくくなります。
- 天気予報や時報など、相手の声を聞くだけの時は、マイクをオフにしてください。
  マイクがオンになっていると音声が途切れる事があります。
- 以下の場合は、相手の声が途切れる事があります。その場合は受話器をお使いください。
  ・相手がハンズフリー通話の場合
  ・相手がドアホンの場合
  ・会議通話の場合
  ・騒がしい、または音が反響しやすい場所で通話をする場合

お待ちいただくとき　＜外線保留＞

1　通話状態で［保 留］を押し、受話器を置きます。

●再び通話するときは、保留中の外線ボタンを押して受話器を取り上げ、通話します。

保留した外線を他の人が受けないようにする　＜外線自己保留＞

1　通話状態で［機 能］［保 留］の順に押し、受話器を置きます。

●再び通話するときは、保留中の外線ボタンを押して受話器を取り上げ、通話します。

内部の人を呼び出す　<内線発信>

音で呼び出す　<内線トーン呼び出し>

1　受話器を取り上げます。（または[スピーカ]を押します。）

・ツッツッツッという内線発信音を確認してください。

2　相手の内線番号をダイヤルします。

・相手の電話機は呼び出し音が鳴ります。

3　相手の方が出たら通話します。

声で呼び出す　<内線音声呼び出し>

1　受話器を取り上げます。（または[スピーカ]を押します。）

・ツッツッツッという内線発信音を確認してください。

2　相手先の内線番号、[#]の順にダイヤルし、受話器で「○○さん」のように呼びかけます。

・相手の電話機のスピーカーからこちらの声が出ます。

3　相手の方が出たら通話します。

内部から呼び出しを受ける　＜内線着信＞

受話器を取り上げて応答する　＜内線自動応答＞

1 トゥルトゥルトゥルという呼出音が鳴ったら、受話器を取り上げます。

2 通話します。

音声による内線呼び出しに、受話器を上げずに応答する　＜内線ハンズフリー応答＞

1 「○○さん」という呼出音声が聞こえたら、通話します。

2 必要に応じて、[マイク]ボタン(または[機能]+[6 は MNO][1 あ])を押します。

● [マイク]ボタンはフレキシブルボタン登録により割り当てます。もう一度[マイク]ボタンを押すと、内蔵マイクがＯＦＦとなります。[マイク]ボタンの代わりに[機能]+[0 わをん 記号][6 は MNO][1 あ]を押すと内蔵マイクがＯＦＦになります。

お待ちいただくとき　＜内線保留＞

1 通話状態で[保留]を押し、受話器を置きます。
- 内線保留状態になります。

2 再び通話するときは、内線ボタンを押し、受話器を取り上げます。

3 通話します。

お待ちいただくとき

通話を一時中断して相手の方に待っていただくときには保留します。相手の方へは保留音が流れます。
保留には、他の内線電話機でも電話にでることができる共通保留、他の内線電話機ではでることができない個別保留と、同じパーク保留グループ内の内線電話機で電話にでることができるパーク保留があります。（パーク保留については、システムの取扱説明書ー基本編ーをご参照ください。）

普通に保留する　＜共通保留＞

1　通話中の相手の方に待っていただくように伝えます。

2　［保留］を押します。

- 内線ダイヤルトーンが聞こえます。
- 相手の方には保留音が聞こえます。
- 保留した局線ボタンが緑にゆっくりと点滅します。
- 内線ボタンが点灯し、周期的に2回点滅します。

```
ナイセン
```

3　保留している局線ボタンを押すと、保留していた相手の方と再び通話できます。

- 保留した局線ボタンが緑に点灯し、周期的に2回点滅します。

```
1234567
                 0：23
```

●保留した状態で話中音（プー..プー..プー）が聞こえているときは局線ボタンを押しても通話に戻れません。一度、受話器を置いてから局線ボタンを押し、受話器を取り上げてお話しください。

他の電話機で取れないようにする　<個別保留>

1 **通話中の相手の方に待っていただくように伝えます。**

2 **[機能]を押します。**

3 **[保留]を押します。**

- 内線ダイヤルトーンが聞こえます。
- 相手の方には保留音が聞こえます。
- 局線ボタンが緑にゆっくりと点滅します。
- 内線ボタンが点灯し、周期的に2回点滅します。

ナイセン

4 **保留している局線ボタンを押すと、保留していた相手の方と再び通話することができます。**

- 局線ボタンが緑に点灯し、周期的に2回点滅します。

1234567
0：53

Note

● 手順2の後、10秒以内に[保留]を押してください。10秒以上間隔があくと共通保留となります。
● 個別保留を行ったときは、他の電話機の局線ボタンはビジー表示となります。
● 保留した状態で話中音（プー..プー..プー）が聞こえているときは局線ボタンを押しても通話に戻れません。一度、受話器を置いてから局線ボタンを押し、受話器を取り上げてお話しください。

通話を他の人に回す　<転送>

近くの人に声をかけて回す　<外線保留転送>

1　通話状態で[保留]を押します。

2　「○○さん××番に電話です」のように呼びかけます。

3　呼ばれた方は該当する外線ボタンを押し、通話します。

特定の内線番号に回す　<外線自動転送>

1　通話状態で[転送]を押し、転送先の内線番号をダイヤルします。

2　つながったら、「○○さん××番に電話です」のように呼びかけて、受話器を戻します。

3　呼ばれた方は通話します。

●転送できない場合は、[転送]を再び押せば保留した外線に応答できます。

最後にかけた相手に再びかけ直す　＜ラストナンバリダイヤル＞

1 空いている外線ボタンを押し、次に受話器を取り上げます。（または スピーカ を押します。）

- 緑色の外線ランプが点滅します。
- ツーという発信音を確認してください。

2 [再発信]ボタン(または 短縮 ＋ ＃)を押します。

3 相手の方が出たら通話します。

●[再発信]ボタンはフレキシブルボタン登録により割り当てます

7 電話帳(短縮)を使用する

電話帳を検索してかける　<読み仮名検索>

1 受話器を置いた状態で、[文字 電話帳]を押します。

- 検索読み仮名入力画面が表示されます。

検索ﾖﾐｶﾞﾅ入力　ア
(半角8文字)
_

2 検索したい電話帳の読み仮名を入力します。

3 (決定ボタン)を押します。

- 検索に一致した場合は、一致した電話帳にカーソルが合った状態で読み仮名一覧画面が表示されます。

[ｱｰｵ]
岩崎通信機

4 (上下左右ボタン)で発信したい電話帳を選択します。

5 (決定ボタン)を押します。

- 詳細画面が表示されます。

岩崎通信機
03XXXX5678
ｸﾞﾙｰﾌﾟなし
個別:90

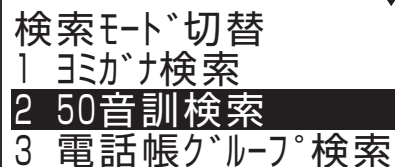
6 (決定ボタン)を押します。

- 項目メニュー画面が表示されます。

岩崎通信機
1 発信 03XXXX5678
2 編集
3 削除

7 (上下ボタン)で「1　発信」を選択し、(決定ボタン)を押します。

8 受話器を上げます。

- 選択した電話帳の相手先に発信します。

Note

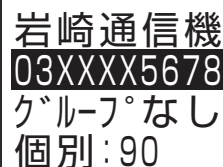
- 検索モード切替を行うと、検索モードが記憶され、再度電話帳を起動した際に前回指定した検索画面が表示されます。
- 検索操作をキャンセルする場合は、[メニュー]を押してください。
- 読み仮名一覧画面で受話器を上げると、カーソルが合っている電話帳の相手先に発信します。
- 詳細画面で受話器を上げると、詳細表示中の電話帳の相手先に発信します。
- 読み仮名一覧画面が表示されている状態で「数字キー」を押すと、読み仮名の先頭文字を対象に検索を行い、一致した電話帳にカーソルが移動します

電話帳を検索してかける　<50音訓検索>

1　読み仮名検索の手順1～3までの手順で、読み仮名一覧画面を表示します。

2　[文字 電話帳]を押します。

- 検索モード切替画面が表示されます。

```
検索ﾓｰﾄﾞ切替
1 ﾖﾐｶﾞﾅ検索
2 50音訓検索
3 電話帳ｸﾞﾙｰﾌﾟ検索
```

3　(上下ボタン)で「2　50音訓検索」を選択し、(決定ボタン)を押します。

- 先頭の電話帳にカーソルが合った状態で読み仮名一覧画面が表示されます。

```
[ｱｰｵ]
岩崎通信機
```

4　(上下左右ボタン)で発信したい電話帳を選択します。

5　(決定ボタン)を押します。

- 詳細画面が表示されます。

```
岩崎通信機
03XXXX5678
ｸﾞﾙｰﾌﾟなし
個別:90
```

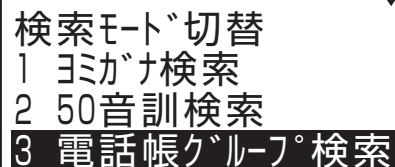
6　(決定ボタン)を押します。

- 項目メニュー画面が表示されます。

```
岩崎通信機
1 発信 03XXXX5678
2 編集
3 削除
```

7　(上下ボタン)で「1　発信」を選択し、(決定ボタン)を押します。

8　受話器を上げます。

- 選択した電話帳の相手先に発信します。

Note

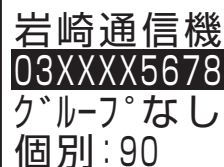
- ●検索モード切替を行うと、検索モードが記憶され、再度電話帳を起動した際に前回指定した検索画面が表示されます。
- ●検索操作をキャンセルする場合は、[メニュー]を押してください。
- ●読み仮名一覧画面で受話器を上げると、カーソルが合っている電話帳の相手先に発信します。
- ●詳細画面で受話器を上げると、詳細表示中の電話帳の相手先に発信します。
- ●読み仮名一覧画面が表示されている状態で「数字キー」を押すと、読み仮名の先頭文字を対象に検索を行い、一致した電話帳にカーソルが移動します。

電話帳を検索してかける　<電話帳グループ検索>

1 **読み仮名検索の手順1～3までの手順で、読み仮名一覧画面を表示します。**

2 **［文字 電話帳］を押します。**

- 検索モード切替画面が表示されます。

検索ﾓｰﾄﾞ切替
1 ﾖﾐｶﾞﾅ検索
2 50音訓検索
3 電話帳ｸﾞﾙｰﾌﾟ検索

3 **（上下ボタン）で「3 電話帳グループ検索」を選択し、（決定ボタン）を押します。**

- 電話帳グループ一覧画面が表示されます。

[ｸﾞﾙｰﾌﾟなし　]
岩崎通信機

4 **（上下左右ボタン）で発信したい電話帳を選択します。**

5 **（決定ボタン）を押します。**

- 詳細画面が表示されます。

岩崎通信機
03XXXX5678
ｸﾞﾙｰﾌﾟなし
個別:90

6 **（決定ボタン）を押します。**

- 項目メニュー画面が表示されます。

岩崎通信機
1 発信 03XXXX5678
2 編集
3 削除

7 **（上下ボタン）で「1　発信」を選択し、（決定ボタン）を押します。**

8 **受話器を上げます。**

- 選択した電話帳の相手先に発信します。

Note

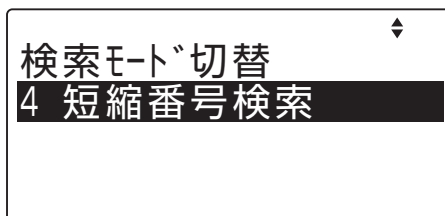
- 検索モード切替を行うと、検索モードが記憶され、再度電話帳を起動した際に前回指定した検索画面が表示されます。
- 検索操作をキャンセルする場合は、［メニュー］を押してください。
- 電話帳グループ一覧画面で受話器を上げると、カーソルが合っている電話帳の相手先に発信します。
- 詳細画面で受話器を上げると、詳細表示中の電話帳の相手先に発信します。
- 電話帳グループ一覧画面が表示されている状態で「数字キー」を押すと、表示中の電話帳グループに所属している電話帳の読み仮名の先頭文字を対象に検索を行い、一致した電話帳にカーソルが移動します。

電話帳を検索してかける　<短縮番号検索>

1　読み仮名検索の手順1～3までの手順で、読み仮名一覧画面を表示します。

2　［文字 電話帳］を押します。

• 検索モード切替画面が表示されます。

検索ﾓｰﾄﾞ切替
4 短縮番号検索

3　(上下ボタン)で「4　短縮番号検索」を選択し、(決定ボタン)を押します。

• 短縮番号一覧画面が表示されます。

[90-99]　[90]
岩崎通信機

4　(上下左右ボタン)で発信したい電話帳を選択します。

5　(決定ボタン)を押します。

• 詳細画面が表示されます。

6　(決定ボタン)を押します。

• 項目メニュー画面が表示されます。

岩崎通信機
1 発信 03XXXX5678
2 編集
3 削除

7　(上下ボタン)で「1　発信」を選択し(決定ボタン)を押します。

8　受話器を上げます。

• 選択した電話帳の相手先に発信します。

Note

● 検索モード切替を行うと、検索モードが記憶され、再度電話帳を起動した際に前回指定した検索画面が表示されます。
● 検索操作をキャンセルする場合は、［メニュー］を押してください。
● 短縮番号一覧画面で受話器を上げると、カーソルが合っている電話帳の相手先に発信します。
● 詳細画面で受話器を上げると、詳細表示中の電話帳の相手先に発信します。
● 短縮番号一覧画面が表示されている状態で「数字キー」を押すと、電話帳の短縮番号検索を行い、一致した電話帳にカーソルが移動します。

8 発信／着信履歴

発信履歴／着信履歴から相手を選んで、外線に電話をかけることができます。

発信履歴からかける

過去に発信した電話番号は、発信履歴として最新の30件を記録しています。発信履歴から相手を選んで、外線に電話をかけることができます。

1 受話器を置いた状態で、(発信履歴ボタン)を押します。

- 発信履歴リストが表示されます。

※発信履歴リストの表示中に、クリア／戻る を押すと、発信履歴リストの表示を終了します。

```
03XXXX5555    18：36
03XXXX2222    18：36
3001          12：55
岩崎通信機    09：12
```

2 (上下ボタン)で表示する発信履歴を選択します。

```
03XXXX5555    18：36
03XXXX2222    18：36
3001          12：55
岩崎通信機    09：12
```

3 (決定ボタン)を押します。

発信履歴詳細表示が表示されます。

※発信履歴詳細表示中に、クリア／戻るを押すと、手順2の発信履歴リストの表示に戻ります。

```
<登録なし>
03XXXX5555
10年09月16日 18：36
```

4 受話器を取り上げます。

- 選択した相手先の電話番号にダイヤルされます。

●発信履歴に記録されている電話番号の桁数は、最大32桁です。

着信履歴からかける

過去に着信した電話番号は、着信履歴として最新の50件を記録しています。
着信履歴から相手を選んで、外線に電話をかけることができます。

1 受話器を置いた状態で、(着信履歴)を押します。

- 着信履歴リストが表示されます。

※着信履歴リストの表示中に、クリア／戻るボタンを押すと、着信履歴リストの表示を終了します。

03XXXX2222　09／13他
03XXXX2222　09／13他
03XXXX2222　09／13他
03XXXX2222　09／13未

2 (上下ボタン)で相手先の着信履歴を選択します。

03XXXX2222　09／13他
03XXXX2222　09／13他
03XXXX2222　09／13他
03XXXX2222　09／13未

3 受話器を取り上げます。

- 選択した相手先の電話番号にダイヤルされます。

●着信拒否(ドントディスターブ)中の着信は、着信履歴に記録されません。
●着信履歴に非通知で記憶されている相手に対しては、発信できません。
●着信履歴リストに表示される相手先は、電話帳に登録されていれば、その名前が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、相手先の電話番号のみ表示されます。
●内線の発信／着信は、発信／着信履歴に蓄積されます。
●着信履歴は、応答した電話機にのみ残ります(他の電話機には着信履歴は残りません)。または、他の応答していない電話機に残すこともできます。
●全ての電話機が応答しない着信履歴は、着信している電話機全てに蓄積されます。

9 さらに便利な使い方

3人または4人で同時に通話する　＜会議通話＞

外線または内線と通話中に会議通話をする　＜外線会議通話＞＜内線会議通話＞

1 通話状態で[転送]を押し、参加させたい内線番号をダイヤルします。

2 相手先が応答したら「会議通話に参加してください」のように呼びかけます。

3 [会議] ボタンを押し、3人で通話します。
※4人で通話する場合は、それぞれ同じ操作を繰り返します。

●[会議] ボタンはフレキシブルボタン登録により割り当てます。

外線と通話中に他の外線を呼び出して会議通話する　＜複数外線会議通話＞

1 通話状態で[保留]、空いている外線ボタンの順に押します。

2 相手先の電話番号をダイヤルし、応答したら「会議通話に参加してください」のように呼びかけます。

3 [会議] ボタン、保留してある外線ボタンの順に押し、3人で通話します。
※4人で通話する場合は、それぞれ同じ操作を繰り返します。

●[会議] ボタンはフレキシブルボタン登録により割り当てます。

●内線と外線を混在して会議通話をした場合、内線に比べて外線の声が小さく聞こえますが、故障ではありません。

10 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、修理に出す前に次の点をご確認ください。

基本動作

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
電話をかけられない	空き回線がない	少し待ってからかけ直してみてください	－
相手の声が小さい	受話音量を小さく設定している	受話音量を上げてみてください	22
会話中の相手の声が大きすぎる、ひずんで聞こえる	受話音量を大きく設定しすぎている	受話音量を下げてみてください	22
着信音が小さい	着信音量を小さく設定している	着信音量を上げてみてください	24
着信音が大きすぎる	着信音量を大きく設定しすぎている	着信音量を下げてみてください	24
相手に声が通らない	ミュートがオンになっている	ミュートをオフにしてください	－
リコール表示がでる	保留が残っている	お近くの電話機で受話器を上げて、［機能］＋［3 さ DEF］［1 あ］を押して、応答してください	－

１１ こんな音がしたら

受話口から出る音

種　　別	音	こんな状態のときに聞こえます
内線ダイヤルトーン	プープープー・・・・・	ダイヤルができるとき
ビジートーン（話中音）	プー .. プー .. プー・・・・・・	ダイヤルした相手が通話中のとき
相手呼出中音	プルプルプル .. プルプルプル・	相手を呼び出しているとき

スピーカ口から出る音

種　　別	音	こんな状態のときに鳴ります
確認音	ピーピーピー	登録操作が完了したとき
警告音	プー .. プー .. プー	登録操作が失敗したとき
内線着信音	トゥルトゥルトゥル・・・・	内線電話機からの呼び出しのとき
外線着信音	トゥルルルルル・・・・	外線からの呼び出しのとき
キータッチトーン	ピッ	ボタンを押したとき

12 主な仕様

項目	仕様
外形寸法	183(W)×88(D)×245(H)mm
質量	900g
消費電力	約2.3W(最大)、約0.6W(待機時)、0W(エコモード時)
環境条件	周囲温度：0～40。C 相対湿度：90%RH以下(ただし結露しないこと)

○仕様および外観は、性能改善等の理由により、予告なく変更することがあります。

13 オプション

オプション品の入手は、お買い求めの販売店もしくは工事店にご相談ください。販売店がご不明の場合には、岩崎通信機お客様ご相談センタへご相談ください。

●受話音量増幅・騒音防止送話機(NHHDハンドセット)

●内線線路延長用品(IX-24KT-EXT)(IX-24KTAPF-Nを除く)

14 アフターサービスについて

● アフターサービスはお買い求めの販売店、もしくは工事店が行います。

万一の故障の修理、移動、増設、移設はすべてお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

● 修理はお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

修理はお買い求めの販売店、もしくは工事店にまずご相談ください。
販売店へのご相談ができない場合には、岩崎通信機お客様ご相談センタへご相談ください。

＜お客様ご相談センタ：0120-186102＞

修理により商品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料：故障した製品を正常に修復するための作業にかかる費用です。
部品代：修理に使用した部品代金です。
出張料：製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。

ただし、商品の機能が維持できるかお電話で判断できない場合にはご希望により出張し、判断させていただきます。その結果、修理しても商品の機能が維持できないとした場合でも有料となる場合がありますのでご了承ください。

• 補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(商品の性能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後、7年を目安に保有しています。この期間中は原則として修理をお受け致します。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い求めの販売店、もしくは工事店にお問い合わせください。

このたびはLEVANCIOをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も本製品のそばなど、いつもお手元に置いてお使いください。

ご不明の点がございましたら、岩崎通信機お客様相談センタへお気軽にご相談ください。

＜お客様相談センタ: 0120-186102＞

お客様メモ

お買い求めになった年月日、店名等をご記入ください。 修理を依頼される時やお問い合わせの時に大変便利です。	
設置年月日	年　　　月　　　日
設置店名 住　　所 電話番号	

TML190231
2013.06

岩崎通信機株式会社